

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和元年7月20日 第118号

## 栃木県立美術館に行ってきました

たまたま見かけたポスターが気に入り、初めて栃木県立美術館に行ってきました。企画展のタイトルは「絵を見るとき、あなたは何をみているの?」。絵心の無い私にとっては、逆に何をみればいいのかといった感じです。ホームページによれば音声ガイドを無料で貸し出してくれるとのことでしたので、何か美術に対する造詣を深めることができるかもという期待を持って行ってみました。



ポスターの構成はうまかったですね。

帰宅後調べてみると、多くの方が同様の疲労を感じるようです。一説に博物館疲労と呼ばれ、10年以上前に「ためしてガッテン」でも取り上げられたようです。対応策は全部をきっちりと見ようとしないこと、細かい説明を熱心に読まないことなどだそうです。鑑賞開始から30分すぎると、あまり記憶に残らないそうです。音声ガイド欲しかったなあ。

企画展、常設展を見た結果、何も分かりませんでした。期待していた音声ガイドは、入力してくれる高校生が期末試験だったのでまだ完成していないとのこと。そのことをHPに書いてあれば、見に行くこともなかったのに……。絵心の無い私が美術館に放り込まれても、やはり何も掴めませんでした。

それでも一生懸命に鑑賞しましたので、ぐったりと疲れまゝです。観客は数組しか居ませんので、人に気を遣っているわけでもないのですが、この疲れは何なのか気になりました。



館内は撮影できませんので、玄関でも。



まだまだ太りますよ。

今年もジャガイモがたくさん採れました。連日ポテトサラダなどで頂いています。植えた時には半分枯れたようなサツマイモの苗でしたが、随分と遅くなりました。雨の多い七月ですが、八月になれば晴れる日が増えてくると思います。そうすると一気にツルが伸びてくるでしょうから、それをマメにひっくり返す作業が必要になります。枝豆も鞘が膨らみ始めてきました。今のところ虫もつかず順調です。

我が家の畑

## 注意すべきは熱中症だけじゃない！ 夏季は「感電災害」にもご用心！

恥ずかしながら私は全く知らなかった記事を見かけましたので、お披露目します。

### ◆夏に多い労働災害「感電災害」

夏の労働災害といえば、すぐに「熱中症」が思い浮かぶでしょう。しかし、これと並んで、「感電災害」も夏場に集中して発生することはご存じですか？

夏季の感電災害は、暑さから絶縁用保護具の使用を怠りがちになること、軽装により直接皮膚を露出することが多いこと、作業時における注意力が低下しがちであること、さらにこれらに加えて、発汗により皮膚自身の電気抵抗や皮膚と充電物との接触抵抗が減少すること等が要因になって多発する傾向があります。建設業・製造業に多く発生する災害ではありますが、その他の業種においても発生することがあり、注意が必要です。

### ◆今年は感電災害が発生しやすい!?

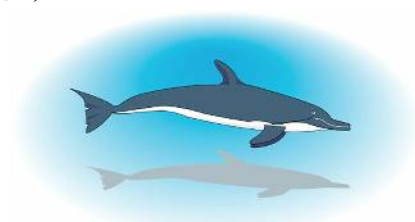
今年は、平年に比べて晴れの日が少ないといわれていますが、気温はほぼ平年並みの見込みであり、晴れば猛烈な暑さとなる日、曇り・雨なら蒸し暑い日が続くとされて

います。感電災害が発生しやすい状況であるといえるでしょう。

### ◆感電災害を防ぐために

感電災害を防止するための対策がきちんととられているか、本格的に暑くなる前に、事業場を改めて確認してみましょう。

- 作業場内のケーブルや電線の被膜は破れていませんか？
- 電気機器の設置は適切に行われていますか？
- 漏電の可能性のある器具等には、漏電遮断器が設置されていますか？
- 電気工事等作業を行う際の絶縁保護具の着用が徹底されていますか？
- 工事・点検を行う際には、無電圧の確認を行っていますか？



また、感電防止策の前提として、安全に電気を使用するための意識を高めることも大切です。従業員向けの研修を行うとともに、電気機器や配線に対する日常の点検・保守管理を安全衛生委員会等の取組事項とすることも効果的です。